

HSK NPO 法人「文福」ニュース



NO.260

冒頭の一言

(6)

だんだん朝が早くなって、日が長くなってきました。そうなっても、朝晩の寒さはまだまだです。花粉と PM2.5、悪い人からの甘言や苦言に気をつけましょう。

長かった自粛生活の鬱憤を晴らそうと、ぼかぼか陽気に乗せられて外出はしてみただけ、思ったより寒くて思わず縮み上がるのもこの時期です。そうは言っても世の中ありとあらゆる所から、新人が湧き出てくる時期です。初めて出会う新人さんを求めて、車のタイヤに空気を入れて、心も軽く身も軽く、晴れの嵐に会いに行きましょう。

—もくじ—

| | | | | | |
|-------|-------|----------|-------|------------|---------|
| 冒頭の一言 | … 1 | オンライン飲み会 | … 2-3 | アルバイト | … 4-5 |
| Penko | … 6-7 | アルバイト | … 8-9 | 富山大学にて講義 2 | … 10-15 |
| 運営会議 | … 16 | 今後の予定 | … 17 | ありがとうコーナー | … 18 |

工
一
九
九
四
年
八
月
四
日
第
三
種
郵
便
物
承
認
一
一
、
一
三
、
一
五
、
一
八
、
二
十
、
二
三
、
二
五
、
二
八
日
(
発
行

第 8 回オンライン飲み会報告 & 次回お知らせ

2021年2月19日に第8回オンライン飲み会がありました。いつも通り19時30分始まりで、テーマは「好きな絵本」でした。参加者は8名ほど。出入りは自由なので一斉に集まったと言うよりは全体の人数ではありません。

このテーマを決めた前は、“読み聞かせもする”としていました。この時も自分は遅れていき、22時くらいから入室したんですが、なんと！！読み聞かせのトップバッターは自分でした。それも実際の絵本を用意していなかった為、記憶で語る桃太郎。それまでは絵本を紹介していただけだったようで、皆恥ずかしかったのかなあ？とか思ってしまいます。酔っ払いの覚えている範囲での桃太郎なので、おそらく実際のとは違ったんだろうなと思わなくもない。途中途中で、素朴な疑問を挟みながらではありましたが、とりあえずのハッピーエンドにはしときました。それに続き、「いつでも会える」「キャベツくん」「大好きって意味だよ」「アンパンマンとばいきんまん」「ゴミ太郎」「星砂のぼうや」「広島のパイプ」などなど色々な絵本が紹介されていきました。個人的には、そもそも絵本と昔話は違うことが判明し、驚きました（笑）「桃太郎」や「一寸法師」など、昔話を元に絵本が作られているらしい。なるほどなるほど。

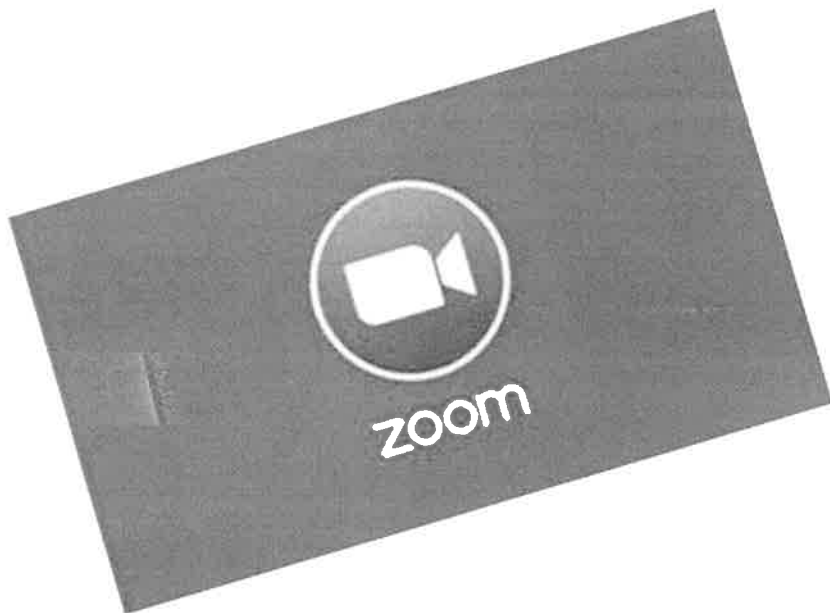
とまあ、そんな感じの第8回でした。個人的に聞いてておもしろかったのは、「キャベツくん」かな。いろんな動物が出てきて、自身がキャベツになったらどんなキャベツになるんだろう？っていう、ただそれだけを想像するお話しでした。気になった方がおられたら、ネットなどで調べてみてください。あと盛り上がったのは意外にも、次回テーマを決める時でした。盛り上がったおかげで、オンライン飲み会史上、最大の時間になりました。日付を超えました。それが第9回のテーマです。また報告をするので、報告を楽しみにしてもらえたらと思います。

こんなゆるゆるな企画ですが、まだまだ続きそうです。皆様のご参加をお待ちしております。

では、第 10 回の日程は下記に。

| | |
|------------|---|
| 日時 | 4月16日(金) 19時30分~終わるまで |
| テーマ | 好きなドラマ紹介(複数可) |
| アドレス | https://zoom.us/j/92137040992?pwd=aWp3dUdiTk1YYUo0YlksaGtFUUVlOdz09 |
| ミーティング ID: | 92137040992 |
| パスコード: | 2021416 |

※今回もパスコードが設けられています。IDを入力後パスコードの入力もお願いします。



「自 己 紹 介」

文福アルバイト 松田 光代

2020年10月より文福にお世話になっております、松田光代と申します。

すでに子供達は巣立ち、4人の孫を持つ「バァーバ」です。

年齢は聞かれても即答出来ないくらい(笑) ややボケが始まってる年代で…小学生の頃は ベルサイユのばら(最も影響を受けた漫画) が大好きで、ドレスを着た女の子を描くのが好きでした。※当時コスプレがあったら、衣装を手作りしてコスプレイヤーになってたかな。(笑)

趣味は手芸やリメイク(体がお子様サイズの為ちょっとしたお直し等、趣味が役立ってます)DIYやモノ作りなど手先を使うこと、綺麗な物や神社の参拝(御朱印集めは興味なし)が好きで、孫とペットが生きがい&癒しのインドア派。でもネクラではありません。

性格はお人好しで騙されやすい世渡り下手、独特な価値観が有るのか、少々個性的だそうです。(友人談) 長年生きてると色々痛い目にも遭った為か、少々人見知りで打ち解けるまでに時間がかかる平和主義者です。

文福にお世話になる前は、長く事務職をしていました。その後、介護未経験で 少し特殊な介護の世界に無謀にも飛び込み、結果6ヶ月弱で辞めることになったダメダメヘルパーです。自分の無知&経験の無さを痛感し、半年間学校に通いながら実務者研修を学び現在に至ります。

前職では心身ともにダメージが強く一時抜け殻状態になりましたが、その時お世話になった方々にいつか何処かで「元気に笑顔でお会いできるように！」を日々の目標に頑張っています。くじけそうな時は、辞職時頂い

た訪看さん達からの温かい寄せ書きや手紙を読み返し気持ちをチャージしています。

文福の利用者さんの介助を通し感じる事は、障害者さんの立場に立って考えた事が意外にも健常者の考えだったと思う事が多く、色々気付かされ、何度も何度も失敗や、やり直しを繰り返しています。(汗)

こんな私に、時には厳しく時には優しく、根気よく付き合い育てて下さる利用者さんに感謝しながら、難しい事ですが、思いを汲み取れる様に、そしていつかは信頼して頂けるヘルパーになれる様にと頑張っています。普通に話したり動ける事が当たり前だと思わず、言動に責任を持ちたいと思っています。

まだまだ初心者の未熟者ですが、宜しくお願い致します。





Penko のおひとりさま 珍道中!! (Part53)

昨年12月からいつもより多く雪が降り、在宅・職場での勤務を繰り返す日々を送っていましたが、2月末から本格的に職場復帰をし、やっと元の生活に戻りつつあります。

今の暮らしの中で、いろんな事業所を利用して、ヘルパーさんと出会って離れるということが繰り返されています。中には1日で入るのをやめられたヘルパーさんもおられました。

今も、いくつかの事業所を利用しています。20代からこの紙面が発行される頃には、なんと!!御年80歳になられるヘルパーさんと関わらせてもらっています。

いろんなヘルパーさんが来られますが、事前に本人さん達の下承を頂きましたので、面白びっくりのヘルパーさん達のことを書いてみたいと思います。全て他の事業所です。

80歳になられるヘルパーさんとは、10年以上前に友達ヘルパーとして知り合い、3年くらい前から偶然ヘルパーとして入られることになり、お互いびっくりしました。元気いっぱい氷川きよしさんの大ファン。大きめ（に見える）の軽四で運転して来られます。きよしさんの話をすると少女のような表情になります。コンサートに行き実際にお話しできたそうです。週に2回来てもらっています。

またあるヘルパーさんは70代で、ひとり暮らしを始めた直後から入ってもらっています。豪快でドラえもんに出てくるジャイアンの母ちゃんみたいなイメージ。とてもおしゃれで、真っ赤な車で来られます。よく芸能界の話

をしています。失敗するときの様子がとても笑えます。自分のことを「〇〇さん」と言っています。週一回の一時間だけなのですが、あっという間に過ぎてしまいます。もう一回入ってもらいたいところですが、今の距離感がよいのかなと思っています。

こんな感じで様々なヘルパーさんと日々コミュニケーションを取りながら、生活を支えてもらっています。

話は変わり、最近嬉しいことやツボにはまることがありました。

一つは、公共交通機関にスロープがついて随分経ちますが、バスに乗り降りする時に、当初は慣れないせいか乗車拒否とかがあって、運転手さんとの関係で悩むことが多くありました。乗降口にステップがあるものが多く、スロープを出された時に傾斜がすごく高くて、運転手さんの協力がなくて乗り降りが難しかったのですが、最近ではステップがないものが増えてきて傾斜が緩くなり、スロープを出してもらって一人で乗り降りできることが多くなりました。ただし、歩道が高くなっているところだけです。バスが来た時にたまにイスがたたまれていることがあり、運転手さんに聞いたら「あなたが乗ってくると思ったから」と言われました。バスを降りた後も「気をつけて」「行ってらっしゃい」と声をかけてもらえるようになりました。最も嬉しかったのは「またよろしくお願いします」と言われたことでした。

もう一つは、最近病院やお店などの入口で体温を測るようになりましたが、おでこで測ってもらうときに、なかなか反応せず、または病院で採血中に注射器に血が入ってこない時、マンガやアニメの「北斗の拳」の中で主人公のケンシロウが言ったセリフを思い出して、一人でウケまくっているのです。顔認証の機械で測って反応した時は「よっしゃあー！！」とガッツポーズをしています。

「なんだろう？」と思われたらマンガやアニメ、ネットで調べてみて下さいね。知っていたら何のセリフかはご想像におまかせします。



初 め ま し て

文福アルバイト 藤田 ゆきのり 幸徳

私は今から 53 年前富山市婦中町に生まれました。幼少より貧乏で苦勞してきました。

中学校に入学すると母親の苦勞する姿を見て「人はなぜ生きるのか？」と疑問を抱くようになりました。みんなが高校に入るので私も高校へ進学しました。大学へ行きたいのですが、お金がない為夜間の名古屋にある大学へ進みました。働きながら勉強しなければならないので、昼間自衛隊で自衛官として働きました。

充実した毎日を送っていましたが「人はなぜ生きるのか？」という疑問が頭から離れず、鶴舞公園にある図書館へ行って「人生論」の本を読みあさりしました。本には答えが無く、益々疑問が深まるばかりでした。そんな時街頭で声をかけられたのです。仏教（親鸞聖人の御教え）に答えがありました。驚きました!!それから仏教の勉強を初めたのです。仕事は会社員が合わないのでマッサージの仕事に就きました。東洋医学の道に進んだのです。

私は「人の命の尊厳」を誰よりも理解しているつもりです。

30 年もマッサージの仕事をするとうれてしまい第二の人生を考えるようになりました。

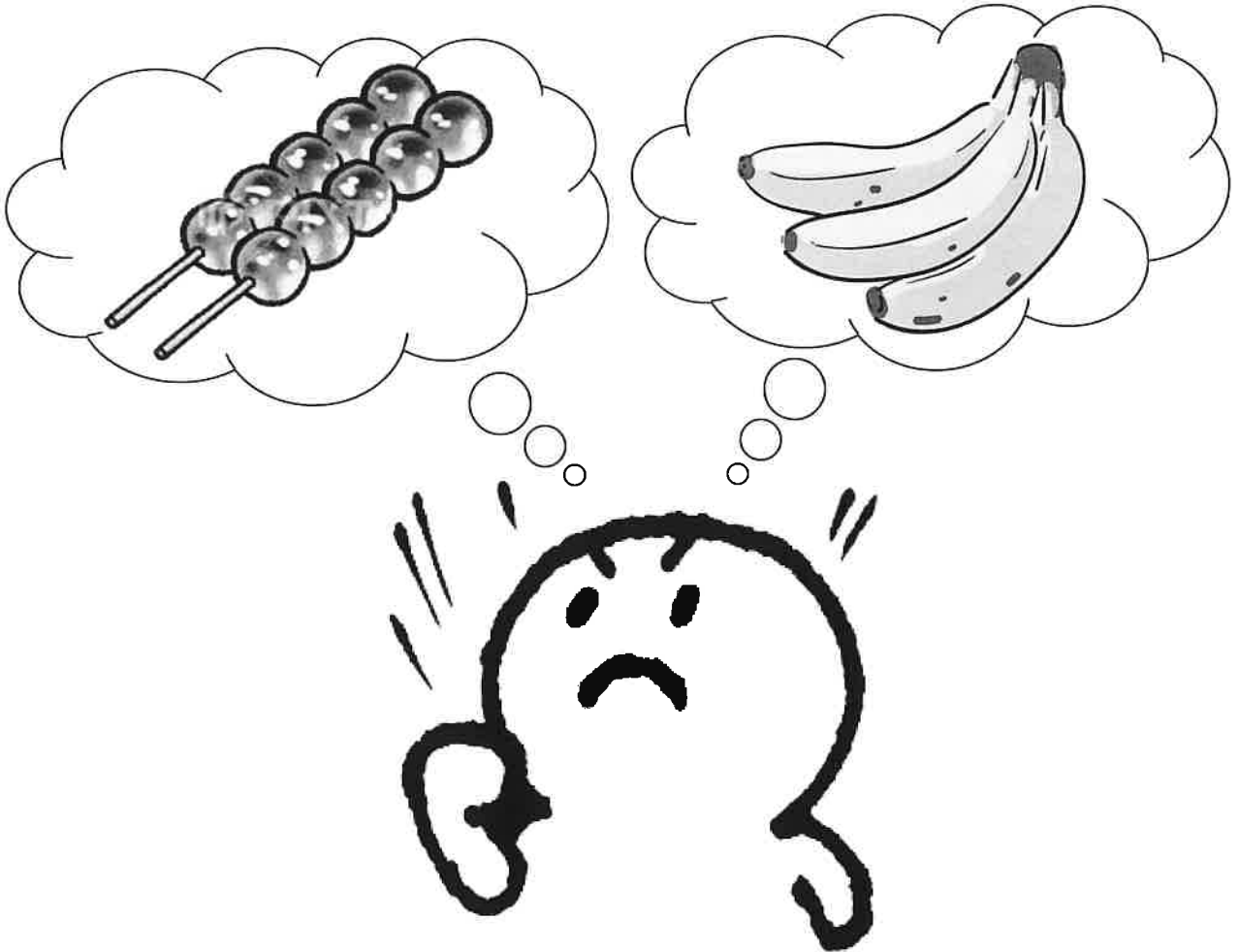
「人に喜ばれる」「人に感謝される」仕事に就きたいと介護の仕事を考えるようになりました。

仕事に就いてみると「感謝される仕事」ではなく「文句を言われる仕事」(笑)でした。

人相手ですので神経を使いますが頑張って一日も早く一人前のヘルパーになりたいな思います。

「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなり」をモットーにして。

今日もみたらし団子とバナナで頑張ります。



富山大学での私の講義の内容 2

八木勝自

1 日目の講義が終わって 2 日目の講義 (2020 年 1 月 22 日)

八木) 最初に皆さんに謝りたいと思います。私と林先生が日曜日に資料を作ったんだけど、皆さんに書いてもらった課題と普通のシート皆さんよくできてよく書いてくれてありがたかったです。しかし、林先生の資料は難しすぎる。富大生の皆さんよく書いてくれたと思います。感謝してます。福祉専門学校の上級に並ぶことです。福祉科の。私のミスで皆さんに大変苦勞をかけたと謝ります。林先生は無理難題を言う先生だと、私が学生さんに優しくしてほしいと他の先生に言われました。

八木) しかし、林先生は大変苦勞して自分の学費も稼いで、大学を出て某一流出版社の編集者だったんです。それを経て大学へ来たんです。それで無理難題を言います。林先生はいい人なんですけど、それでも無理難題を言いますが、私がこんな無理なことを書かせなければ良かったと思っています。よく今回の学生さんが書いてくれたと思います。ありがとうございます。

ということで本日の授業を始めたいと思います。まず、4 つの質問に答えていきたいと思っています。最初に障害者の「がい」のことを説明します。私が使うのは平仮名の「がい」や「害」ではなく、「碍」です。一般には「害」の字を使います。日本は戦争に負けて、日本の当用漢字は難しすぎると 140 の字にまとめました。

私が現在使っている「碍」は宝塚市の公式文書でも使われている字です。障害者は

昔、道を塞いでいる丈夫な石(岩)や矢を乗り越えたり遠回りして行かなくてはいけないという意味です。また戦争で戦後日本には傷痍軍人で障害になった人が人を医者や医学で治せなく、その人たちは障害を背負っていくという論理でも使われていたと思うし、障害の「害」はそれで本人の障害が治ればよいという医療モデルで、私が使っている障害者の「碍」は社会の設備や建物、制度、人が障害を差別することの方が問題で、それを解決しなきゃいけないという意味で社会モデルとしてこの「碍」を使うようになりました。使うようになってそのことがこの「碍」を使っている理由です。

「碍」がこんな訳になった訳は戦争で傷痍軍人が多く出ました。医者とか医学が答えられなかった。医者が障害を受けた人が害を社会へ与えるのではなく、受けるという意味でこの字にしたと思います。この字を使い始めたのは私が以前の「がい」を使っている時に、社会問題のつもりで以前の漢字を使っていました。医療モデルが同じ「がい」を使っているとよく分からなくなったので、碍を使うようになりました。私はそういうところで当用漢字の字を使い始めました。それがこの碍を使っている理由です。資料を読んでください。

林) リクエストの紙の 2 番目。植松被告からの手紙が送られてきたから返したというところで、皆さん前回の資料をお持ちです

か？植松からの手紙が来てどう思ったかという、

八木) そうです。植松被告の手紙は達筆で、相手のことも私の事もちゃんと書いていてびっくりしました。なんでこんな事件を起こしたか不思議でした。私が接見した時もこんな人なんだと、さほどびっくりしませんでした。手紙での対応が一番驚きでした。いろんなことを考えているんだなと思いました。

(質問 3) 植松被告は「重度障害者は安楽死すべき」と言っているが、現在八木さんがどう思っているのか聞きたい。

八木) 私、この質問を読んだ時に安楽死のことを考えてほしいと思いました。安楽死は痛みとか心の悩みが解決しなくて、自分が死にたいと思うのが安楽死で、植松被告のやったことは尊厳死。尊厳死とは自分が尊厳がある人になりたいと NHK のビデオにあったように、自分の尊厳を守りたいから死にたいと。植松のやったことは自分のエゴや勝手な思いで、無理やり重度障害者の心を忖度して無理やり殺した。本人は死にたいとも生きたいとも思っていない。本当にエゴの塊で殺人です。安楽死とか尊厳死とは違います。

今回の授業の本題に入ります。今回の私の授業は生存権です。障害者の生存権です。

林) 皆さん、Wikipedia で朝日訴訟って検索してみてください

八木) 朝日訴訟というのは、生存権が侵害されたというか憲法 25 条の生存権の保障ということで朝日さんという方が生活保護を受けていた。生活保護を受けているからある程度生活費とか入院費とかは国から保

障される。今は違うのだけど、当時の入院は手術して治す、急性期で病気を治す。しかし長期療養の介護料は認められていなかった。それは生活保護では認められていなかった。それで裁判を起こしたのが朝日訴訟です。その憲法の生存権が問題になったのはそういうことです。同じことだと思うけど障害者の生存権とは重度障害者とか衣食住を確保すること。つまり食べて住むところがあって、服がある。それで施設ができた。施設にいれば家族も安心だとか将来国が面倒を見てくれるというところで、施設づくりが昔の隔離政策を頑張ってどんどんできていた。家族の負担を減らすことで施設はできてきたけども、それがちょっとずつ拡大してきた生存権の内容が。今の障害者がどう考えているかとかを少し説明したいと思います。障害者の生存権は 2 つあります。障害からの解放と障害者としての解放。似てますよね。実は違うんです。障害からの解放とはバリアフリーとか公共バスを使うとか、つまり障害者でも社会参加できる。私流の障害からの解放です。私もちょっとあって、社会参加からの障害者が障害者からの解放として、簡単に言うと、私は皆さんは初めて会ったから障害者の八木さんは男だと思う。そういう感覚だと思います。実は障害者にとってはただの解放では無いのです。私八木勝自は男であって尚且つ障害者なのです。これが障害からの解放です。つまり、障害というカテゴリーがあるけどもカテゴリーの中にある普通の人なんだと。社会が受け入れたり人が仲間ができるように勿論性格が合わない障害者とか一人一人色々です。それは個別に

考えてください。気に入っている人もいれば気に入らない人もいます。これは当たり前の事です。普通の人なんだから。だけどちょっとだけ配慮してほしいところもあります。それでそういうことを常々考えています。学校とか仕事を一緒にやる人。活動とか仕事、昔は介護とかで障害者がお金を取るとかいうと抵抗がありました。今は違います。今は金は天下の周りものではなくて金は人間で言えば血液です。血液がとどこおれば、社会の一人一人が生きていきません。もちろん金が一箇所に固まると脳溢血を起こします。金はまわってはじめて人のためになると僕は思っています。でもやはりここの学生とか特にだけど優秀な人が多い。私の話を熱心に聞いてくれます。1回目からこんなに真剣に聞いてくれる学生は今までいなかった。今までは聞きましたで終わっていた。私が100人とかの学生などを相手にしていたからかもしれませんが今回の学生さんは考えてくれている。これは大変えらいことです。感謝します。それで私は学生さんに今の資本主義の労働をしてほしくない。どっちかといえば社会貢献する労働をしてほしい。今高齢社会ですが、今核家族は子育ても大変。今、金がなくて生活できない人がいっぱいいます。そう言った人たちのことも、社会貢献という労働をしてほしい。たとえば一番最後に言うつもりだったけど、課題シートに書いてくれた人もいたけど障害者が社会参加してほしいということを書いてくれた人がいました。約3分の1。気づかせてほしいと。いろんなことを気づかせてほしいと。講演会などもしてほしいと書いてくれた人もいます。

私はたとえば皆障害者の1人として仕事とか事業をしてほしい。私の介護者の中にも文福の居宅事業をしている、受ける人する人だけでおわってしまっている、障害者が。自立支援とかせめて飯の種にはなってほしい。チラシに配りましたよね。この前のものですが、なんでもコンサート。今、高齢者障害者は在宅で生活しにくい。玄関で足腰が上がらなかつたり、スロープとか机とか高さを変えられるボタン1つで電動機。便器も電動で今はないんだけど、洋式トイレ自体の高さが上がったり下がったりする。それがあれば自分が生活できたりできる。高齢者とか障害者とかにどんどん取り入れてほしい。皆さん通信販売のAmazonが独占販売しているアレクサって知ってますか？手を挙げてみてください。

林) 端末で開けば出てくるんじゃない？アレクサって。

八木) アレクサは声で「電気をつけて」とか、声で「家族を呼んで」とか緊急の連絡できて自動的に通報してくれる。私も一回買ったんだけど、私の電化製品が古くて使えなかった。もちろんお金をかければ使えるようになるけど、そうなるけどもそれよりも困っている人がいた。文福の会員の障害者で、ある日、目を腫らしていたkさんという人がいました。ネットとかやりすぎか？と聞いたら違うと。昨日ベッドから落ちて朝介助者が来るまで動くことができなかつたんだと。そういうことがあったので私がアレクサをあげて携帯を繋げて色々できるようにしてもらいました。今はその人は「アレクサとお友達になった」と言われました。お友達だということでもちょっと危

険性を感じました。なんでかということ、植松は自暴自棄になって今のコンピュータ社会で人を頼らず自分以外は敵だと思ような傾向が見られて、その延長線沿いに色々こんな事件がおこるんじゃないかと怖かった。それで私は生活していければ良いけども利用できればいいけど、利用されるのはダメなんじゃないかと思った。今労働の話がでました。昔はコンピュータとか使ったら仕事が楽になる。仕事時間が短くなると言って導入された。コンピュータを使っているというよりもコンピュータに使われているのが実情で、労働時間が短くなるというより長くなっている。コンピュータをうまく使えないとイライラしてくる。スマホもそういう人も少なくなると思うけどいじくってうまくいかないでイライラしますよね？私がそうですから。しまいには自分自身が自分のやりたいことができないと、自分自身を敵だと思ってくるような、極端に言えばそういう世の中が1つある。そういうのが一番怖くて機械は使った方が良く、使えない方がおかしいんだけどほどほどに、ゆっくりしたほうが人間らしくて良いと思う。ということで私はそういった意味での社会貢献ということで、みなさんも頑張ってください。いまの労働は皆さん自分自身が人を差別していく。私ごめんなさい。この授業の時間配分を間違えています。林先生がこの前の授業で北日本放送が放送してくれたのをやります。

林) そのあと質問があればお受けします。

八木) 実は私も見てなくて今日初めて見ます。

林) 1月8日。夕方放送されました。授業やった後に。あの時の映像がどういう風に使われたのか見ましょう。

(ビデオ視聴)

八木) 植松被告は死刑にすると植松被告の同じ論理で社会から生きるに値しない命。植松がやったことと国家が死刑にすれば計らずとも一緒です。植松被告を死刑にするということはあってはならない。何故かということ、そういったことも含みます。日本の裁判をやる目的は更正目的です。ただし私はオウム事件の麻原彰晃は、あの人は障害者だと名乗って尚且つ自分の見栄と欲望のために部下に人を殺させたり、サリン事件を起こしました。私はこの人をかばう気持ちは毛頭ありません。断っておきます。ただ植松被告が同じ論理。でしかも今の刑法では罰則主義じゃない更正主義なんです。更正できればしなければなりません。植松の事件を国家として繰り返して欲しくないというのが私の意見です。さっきの仕事のことだけど、社会貢献ということですが林先生がこういった資料を作ってくれました。林) ちょっと説明します。大学前の電停。ちょっと前まではこうだったんです。歩道橋。

八木) 皆わからないと思う。2015年くらいに工事が始まり1年間程度で歩道橋がなくなって横断歩道になった。歩道橋は一段一段登って降りて市電に乗ってました。障害者も利用できなくて、裏話が実はあり、富山地铁の人が歩道橋を失くしたいと。あの歩道橋を撤廃する要望書を書いてくれないかと。地铁と警察と市役所に県庁に対して「要望書を書いてくれないか」となる

べくひょうきんな男の人が来て、「お願い！！」ってそのお願いに負けて私が要望書を書きました。私が書いた題名とはちょっと題名が変えられました。ちょっと付け加えられています。そういうことがあって、昔の大学前は皆さん知らんでしょ？あそこはいまの大学前は以前の球場前だったんです。

林) 呉羽山前までありました。それなら大学前までいけばいいんじゃないかという意見があった。歩道橋撤去は実現しました。

八木) いまの正門のローソンの所までが大学前だったんです。昔はカーマあたりまでありました。モーターゼネレーションで短くなってきた。今も地鉄さんはすぐに復活できるように、コンビ二前まで線路を隠して埋めています。掘り返せばすぐに使えます。大学構内に市電を入れたいと考えています。ところが反対の意見ではないけども、それよりも先にやってくれと呉羽の住民がうちのところが先だと言ってなかなかうまくいきません。で、大西さんに質問があるのだけど、市障協としていろんな肩書で、林) もう 1 人のゲスト。

大西) 私は、富山市との合併前の婦中町の時も協会の事務局長をしていました。また、平成 19 年に富山市の協会と合併した後も理事をし、現在は事務局長をしています。それと四団体の協議会の会長も努めています。四団体とは、肢体(身体)・視覚・聴覚・父母の会(18 歳未満の障害者の親の会)です。いろいろ大変なことも多々あります。数年前だったかな。八木さんと知り合いになり、いろいろな問題を議論してきました。

私は、障害者と言っても軽度障害で仕事も社会生活も普通にやらせてもらって、会社の中で差別されることもなく、富山には、昭和 48 年に転勤してきたのですが、その後管理職・役員も務め、また、工業会の理事も務めさせてもらいました。

会社では、いろんな役職をやらせてもらい、また、地域でも自治会の役員も経験しました。

環境保健衛生関係では、長年の労に対して環境大臣表彰をいただきました。しかし、自分としては、表彰してもらうことを目標にしてやっていたのではなくて、小さなことをコツコツとやってきた結果、他人が評価してくれたと思っています。

自分の信念は曲げたらあかん・八木さんも非常に多くのことにコツコツとやっています。先程の植松被告に手紙を出したり接見に行ったりいろいろしています。まあどうかというと八木さんの視点と私の視点は全然違うところはあります。

意思疎通のできない重度障害者のほかに、意思疎通のできない後期高齢者で寝たきりで植物状態の人も何十万人もいるそうですよ。高齢者施設でもいじめられたり、殺されたり、そういう事件があります。

医学が進歩し、医学の都合で生かしているという時代。これが人間の尊厳かということそうではないと思っています。そういう問題も含めて障害者や高齢者の問題を、もっともっと真剣に考えてもらいたいという一つの思いです。

それからもう一つ、先生いいですか？

林) どうぞ。

大西) 私らの時代は手足の悪い障害者は「ちんば」(今は死語になっていますが)とか言われました。

しかし、肢体障害者も精神疾患の知的財産や発達障害の人も、小学校ではみんな一緒に机を並べて勉強していました。健常者の人からは、私らを軽蔑したりいじめられたりもしましたが、私らを助けてくれた人もいます。健常者も障害者もお互いが理解しあえたと思っています。

ところが皆さんの時代になると差別したらあかんと言いながら、区別して障害者は支援学校にというようになりまして。私は、区別というのは差別だと思っています。これからの時代、みなさんが真剣に考え、議論し社会に真の差別がなくなるようにしていってくれることを願っています。

林) 最後コメントシートに書く間に、八木さん大西さんに質問したいことがあればどうぞ。

八木) 大西さんに発言を求めたのは、重度軽度というか一番は社会参加、中度障害者の問題を一言言ってほしい。

大西) 中度障害者ね、中度と軽度の人、昔から社会参加していたと思います。

今の中度というと知的障害や発達障害が多くなってきており、どの辺が中度と重度が分からなくなっていると思います。

社会生活をしていくうえで、重度の人や健常者でも生活保護を受けている人とかいろいろあります。社会がそういう人たちを支えあっているかが問題ですね。

生命を維持していくうえで経済活動をするのですが、第一次産業をしっかりやっていくようにしなければならぬと思います。

障害者が社会でどうやって貢献できるようにするかが大きな課題だと思います。

八木) これで僕の授業はおわりますが、バリアフリーの経験をちょっとだけ言います。スロープも障害者の中でもスロープだと困る人もいます。どういう人かと言ったら視覚障害で全盲に近い人。たとえば下りが怖い。目をつむって上りはさほど怖くない。下りは怖いですよ。

車椅子でも怖い。上りはさほど怖くない。そういう経験をしてほしい。合理的配慮とは一人一人違うんだと言いたい。

大西) 最後に。障害者のこういう色んな出来ないことを科学的なことではできるようになっていくとか、人間として心の問題としてやっていかなければならない問題も多々あると思うんですけど、そういう問題を拾いながらやはり私らも社会を変えていく努力をしていかないといけないなと思っています。どうもありがとうございました。

林) この関わりをみなさんの学びの中で、あと直線的な八木さんや大西さんとの活動の中でこの機会を活かしていければいいかなど。

ありがとうございました。

大西) 今後とも頑張ってやっていっていただきたいと思います。宜しくお願いします。

林) 色々一緒に活動したいという時は八木さんに連絡をしてほしいと思います。文福の理事長です。火曜日に食堂をやってて、昨日は肉じゃがでした。200円です。

八木) 本音で共同する社会にしていきたいと思います。

運営会議報告

2月16日現在

各部の報告

● 障害者部会

・五福の大阪屋の新店舗建設について、大阪屋の本部の方から「建物は平屋建てで、多目的トイレもあるので、皆さんどうぞ利用して下さい」という返事がありました。

・多目的トイレについて、他の店舗にあっても使えない状況があり、ハートビル法やバリアフリー法をみんなで勉強したらという意見も出ました。

● 連続学習会

特になし。

● 介護人派遣事業部

正職員が1人3月いっぱいまで退職します。これに伴い介護人派遣事業の担当者が変わります。連絡事項がごたつくと思います。

● レクリエーション部

毎月第3金曜日にオンライン飲み会を続けています。

今回のテーマはお勧めの絵本です。

● 障ちゃんニュース発行部

発送作業は24日水曜日になります。編集会議は午前11時からです。

● まっち発行部

2月の末が締めきりでしたが、原稿が集まっていないので1か月伸ばすことにしました。

● その他

・総会について

コロナ禍の影響で記念講演はなし。6月12日サンシップにて総会を行う。例年通り各部からの報告・計画の資料を作成する。

・ホームページについて

正職員退職につき、担当者が変わります。徐々に更新回数が増えると思われるのでまた見て下さい。

次回運営会議日程 3月16日(火)です。 報告者 福田



◆今後の予定◆

このコーナーでは、基本的に文福や他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願ひします。

◎ 「女性、こども、マイノリティが輝く社会」

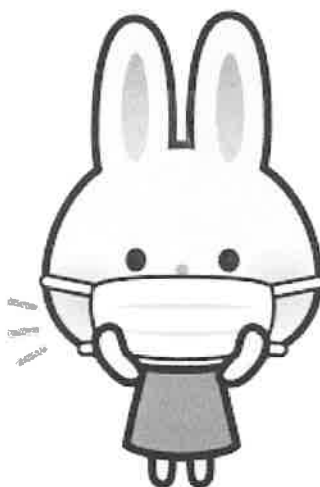
日 時：5月15日（土）13：30～15：15

場 所：自治労とやま会館3F大会議室

講 師：竹信 三恵子 氏

*参加定員は40名。事前に主催者に連絡

お問い合わせ先：076-441-0375

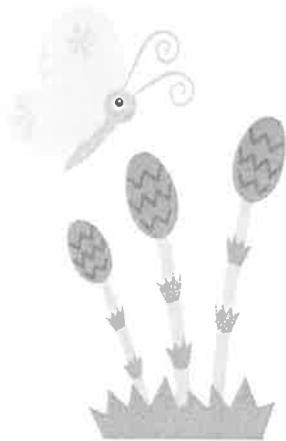


ありがとうコーナー

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後もよろしくお願いします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



4月になります。去年コロナで延期されたオリンピック・パラリンピックはどうなるのでしょうか？

ワクチンが日本でも、徐々に接種され始めて来ています。このワクチンは保存が非常に難しいのに、私の通っている個人病院で受けられるというのです。本当に大丈夫なのか疑問を持っています。今度行ったら聞いてみようと思っています。 〈アパッチ〉

* 2020 年度 新規会員・継続会員 *

* いただきもの *

上田 孝子さま 吉田 都さま さくら苑さま フードバンクさま

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 3 1 2

編集人：特定非営利活動法人 ^{ぶんぷく} 文福

〒930-0887 富山市五福 3734-3

e-mail: bunpuku@arrow.ocn.ne.jp

HP: <http://bunpuku.org/>

TEL / FAX (076) 4 4 1 - 6 1 0 6

定価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。